



# 鶴田沼緑地 基本設計策定業務

- ・基本設計 平成11年5月～12年3月
- ・所在地 栃木県宇都宮市
- ・面積: 30.9ha
- ・事業主: 宇都宮市

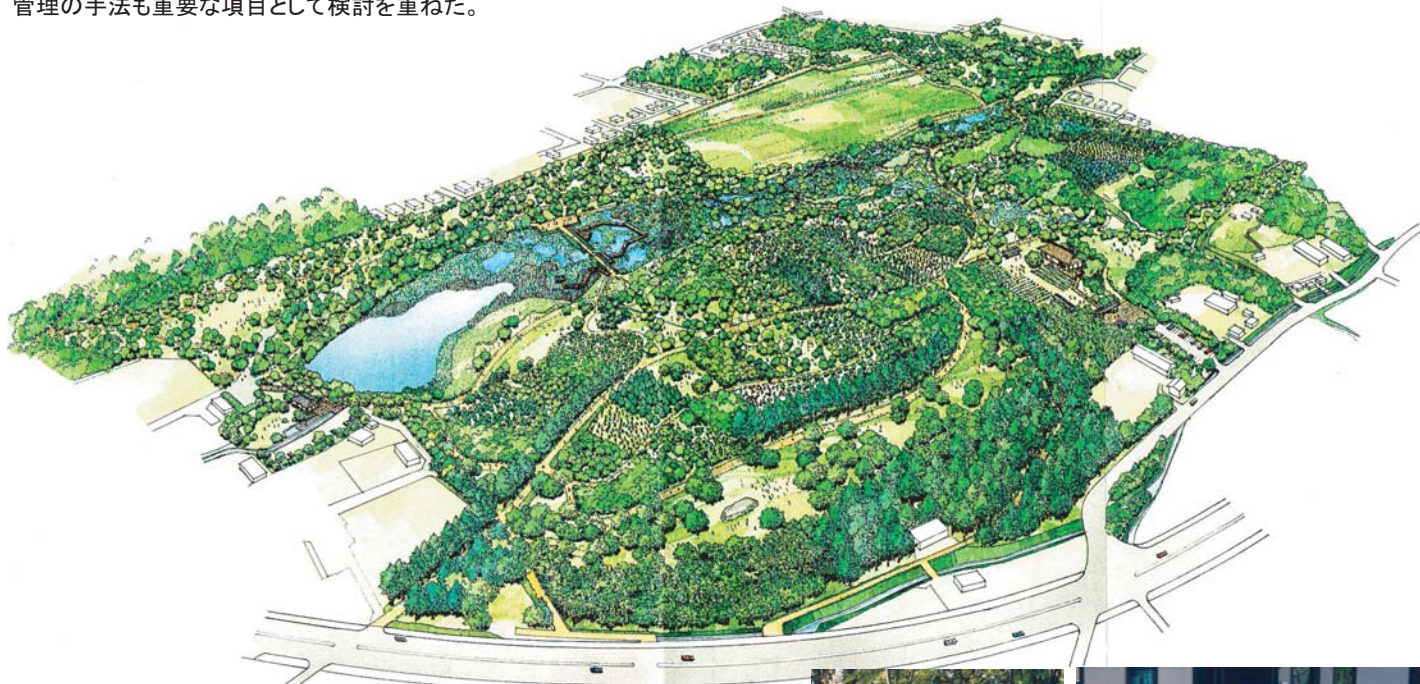
## — ため池を中心とする里山の自然再生 —

(仮称)鶴田沼緑地は市街化区域西端に位置し、市全域のなかでも重要な自然資源の宝庫である。鶴田沼周辺では平成3年度の自然環境調査に始まり、平成11年度まで環境モニタリング調査と植生改良実験が継続して行なわれている。鶴田沼に生息する生物相の変化の把握と環境改善が試みられ、その結果、湿地植物の回復、沼流入水質の改善傾向が確認された。

鶴田沼とその周辺は、平成12年度都市計画決定により、都市緑地として整備する方針である。平成8年度の基本構想では、計画のテーマを「自然と文化のフィールドミュージアム」とし、ため池を中心とする里山の自然再生を整備の基本的な考え方として示した。

本業務は、鶴田沼周辺の自然環境の改善を図りながら、都市緑地として保全整備するための基本設計を策定するものである。しかし、宇都宮市西部の市街化区域は、宇都宮環状線開通以降急速な都市化が進行している地域である。また、東側の鶴田沼第2土地区画整理事業に伴い、周辺環境の急激な変化が予想される。そして今後形成される市街地のなかで、市民やボランティアによる緑地保全の仕組みづくりなどは新たな課題といえる。

本業務では、平成10年度に実施した自然環境調査及び追跡調査の結果を踏まえ、都市計画区域である沼周辺約30.9haの都市緑地整備の基本方針、導入施設、保全手法等の検討を行ない、都市計画決定による緑地保全活用の方角性を明確にした。また、市民参加手法や維持管理の手法も重要な項目として検討を重ねた。



雑木の苗木を育てるために、ドングリ 完成したドングリ工場。を蒔いてドングリ工場をつくる。



落ち葉やススキなど気に入ったものを採集する。



集めた材料で秋の屏風をつくってみんな集まり記念撮影。



秋の鶴田沼。



(仮称) 鶴田沼緑地基本計画図